

2022年、フランスでイスラム政党が政権の座に就くという架空の設定で世界をざわつかせた近未来小説。シャルリ・エブド襲撃テロの日に発売になったというタイミングもスキャンダラス。でも、実際は時代遅れな文学青年のダメ男小説であるところが、別の意味でスキャンダラス。

(近未来小説／イスラム対極右／文学青年のいじましさ)

柳原孝敦 東京大学教員・スペイン語圏文学者



Vol.4

はじめての海外文学



推薦者

柳原孝敦さん

東京大学教員・スペイン語圏文学者

近著に『テキストとしての都市 メキシコ DF』（東京外国語大学出版会）。翻訳に『第三帝国』（ロベルト・ボラーニョ、白水社）、『文学会議』（セサル・アイラ、新潮社）、『グルブ消息不明』（エドゥアルド・メンドサ、東宣出版）など。

「服従」
ミシェル・ウエルベック 著
大塚桃 訳
河出文庫

大人向け部門

2022年、フランスでイスラム政党が政権の座に就くという架空の設定で世界をざわつかせた近未来小説。シャルリ・エブド襲撃テロの日に発売になったというタイミングもスキャンダラス。でも、実際は時代遅れな文学青年のダメ男小説であるところが、別の意味でスキャンダラス。

(近未来小説／イスラム対極右／文学青年のいじましさ)

柳原孝敦 東京大学教員・スペイン語圏文学者



Vol.4

はじめての海外文学



推薦者

柳原孝敦さん

東京大学教員・スペイン語圏文学者

近著に『テキストとしての都市 メキシコ DF』（東京外国語大学出版会）。翻訳に『第三帝国』（ロベルト・ボラーニョ、白水社）、『文学会議』（セサル・アイラ、新潮社）、『グルブ消息不明』（エドゥアルド・メンドサ、東宣出版）など。

「服従」
ミシェル・ウエルベック 著
大塚桃 訳
河出文庫

大人向け部門

2022年、フランスでイスラム政党が政権の座に就くという架空の設定で世界をざわつかせた近未来小説。シャルリ・エブド襲撃テロの日に発売になったというタイミングもスキャンダラス。でも、実際は時代遅れな文学青年のダメ男小説であるところが、別の意味でスキャンダラス。

(近未来小説／イスラム対極右／文学青年のいじましさ)

柳原孝敦 東京大学教員・スペイン語圏文学者



Vol.4

はじめての海外文学



推薦者

柳原孝敦さん

東京大学教員・スペイン語圏文学者

近著に『テキストとしての都市 メキシコ DF』（東京外国語大学出版会）。翻訳に『第三帝国』（ロベルト・ボラーニョ、白水社）、『文学会議』（セサル・アイラ、新潮社）、『グルブ消息不明』（エドゥアルド・メンドサ、東宣出版）など。

「服従」
ミシェル・ウエルベック 著
大塚桃 訳
河出文庫

大人向け部門

底抜けに大らかなギリシアの島で暮らした、肝っ玉母さん率いる強烈な英国人一家の実話？小説です。著者はその末っ子。ユニークすぎる家族（有名作家含む）の行状をバラしたかどで全員に責められて大変だったとか。ツンデレなギリシア愛のにじむ池澤夏樹訳がとにかく絶妙で、読む太陽のような一冊。
（ギリシア多島海／動物／大戦前）

和爾桃子 英米文学翻訳者



はじめての海外文学
Vol.4



推薦者

和爾桃子さん
英米文学翻訳者

主な訳書：サキ四部作（白水社）、『死後開封のこと』『ささやかで大きな嘘』（いずれもリアーン・モリアーティ、東京創元社）、近刊は『四つの凶器（仮）』（ジョン・ディクスン・カー、東京創元社）など。三十六年にわたって毎年百キロの梅干を漬け、昨年からは梅干と味噌仕込みの教室も開講。NG 質問：「ご職業はなんですか」

「虫とけものと家族たち」
ジェラルド・ダレル 著
池澤夏樹 訳
中公文庫

大人向け部門

底抜けに大らかなギリシアの島で暮らした、肝っ玉母さん率いる強烈な英国人一家の実話？小説です。著者はその末っ子。ユニークすぎる家族（有名作家含む）の行状をバラしたかどで全員に責められて大変だったとか。ツンデレなギリシア愛のにじむ池澤夏樹訳がとにかく絶妙で、読む太陽のような一冊。
（ギリシア多島海／動物／大戦前）

和爾桃子 英米文学翻訳者



はじめての海外文学
Vol.4



推薦者

和爾桃子さん
英米文学翻訳者

主な訳書：サキ四部作（白水社）、『死後開封のこと』『ささやかで大きな嘘』（いずれもリアーン・モリアーティ、東京創元社）、近刊は『四つの凶器（仮）』（ジョン・ディクスン・カー、東京創元社）など。三十六年にわたって毎年百キロの梅干を漬け、昨年からは梅干と味噌仕込みの教室も開講。NG 質問：「ご職業はなんですか」

「虫とけものと家族たち」
ジェラルド・ダレル 著
池澤夏樹 訳
中公文庫

大人向け部門

底抜けに大らかなギリシアの島で暮らした、肝っ玉母さん率いる強烈な英国人一家の実話？小説です。著者はその末っ子。ユニークすぎる家族（有名作家含む）の行状をバラしたかどで全員に責められて大変だったとか。ツンデレなギリシア愛のにじむ池澤夏樹訳がとにかく絶妙で、読む太陽のような一冊。
（ギリシア多島海／動物／大戦前）

和爾桃子 英米文学翻訳者



はじめての海外文学
Vol.4



推薦者

和爾桃子さん
英米文学翻訳者

主な訳書：サキ四部作（白水社）、『死後開封のこと』『ささやかで大きな嘘』（いずれもリアーン・モリアーティ、東京創元社）、近刊は『四つの凶器（仮）』（ジョン・ディクスン・カー、東京創元社）など。三十六年にわたって毎年百キロの梅干を漬け、昨年からは梅干と味噌仕込みの教室も開講。NG 質問：「ご職業はなんですか」

「虫とけものと家族たち」
ジェラルド・ダレル 著
池澤夏樹 訳
中公文庫

大人向け部門